

▽ 村上 陽子 准教授 MURAKAMI, Yoko



所 属:総合文化学部日本文化学科

担当科目:卒業論文Ⅰ・Ⅱ、ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、日本近代文学史Ⅱ、
アカデミック・ライティング、ゼミナール入門、文化テキスト論Ⅰ・Ⅱ、リテラ
シー入門Ⅰ・Ⅱ、現代文学理論Ⅰ・Ⅱ

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

①【主要学歴】

琉球大学大学院人文社会科学研究科国際言語文化専攻（修士課程）、東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻（博士課程）修了

②【学位】

博士(学術)

③【所属学会】

日本近代文学会、昭和文学会、日本社会文学会

④【主要な社会的活動】

日本社会文学会運営委員（2011年6月～2015年6月）、日本社会文学会『社会文学』第40号編集委員（2013年11月～2014年7月）、日本近代文学会運営委員（2015年4月～2017年3月）、日本社会文学会評議員（2015年7月～現在）、原爆文学研究会世話人（2016年6月～現在）

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 学内での教育活動		
1) ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	2016年4月～	3・4年次、演習形式、専門教育科目。学外活動として年1回ゼミ合宿を実施。ゼミの研究成果として年度末に研究論文集「日本近現代文学研究」を発行。
2) 卒業論文Ⅰ・Ⅱ	2017年4月～	4年次、演習形式、専門教育科目。必要に応じて個別指導を行う。
3) アカデミック・ライティング	2017年4月～	2年次、オムニバス講義形式、専門教育科目。
4) 文化テキスト論Ⅰ・Ⅱ	2017年4月～	2～4年次、講義形式、専門教育科目。
5) 日本近代文学史Ⅱ	2016年9月～	1～4年次、講義形式、専門教育科目。
6) リテラシー入門Ⅰ・Ⅱ	2016年4月～	1年次、演習形式、専門教育科目。
7) 現代文学理論Ⅰ・Ⅱ	2016年4月	3・4年次、講義形式、専門教育科目。
8) 講演 「「沖縄文学」の挑戦—沖縄を描くことばの創造」	2017年12月9日	2016年度沖縄国際大学うまんちゅ定例講座「しまくとぅばルネサンス」
2. 学外での教育活動		
1) 講演 「短編小説の書き方講座」	2016年7月16日	第11回琉球大学びぶりお文学賞ワークショップ
3. 学生支援活動		
1) サークル・部活動	2016年4月～	文芸部顧問

研究業績等

【主要論文及び主要著書】

【主要論文】

- 1) 「傍観者的立場の揺らぎ—井伏鱒二「かきつばた」論」、『日本文学』第66巻11号、2017年11月。
- 2) 「沖縄・海洋博の爪痕—大城立裕『華々しき宴のあとに』をめぐって」、『昭和文学研究』第75集、2017年9月。
- 3) 「植民者二世と銃—小林勝「フォード・一九二七年」について」、『沖縄国際大学日本語日本文学研究』第21巻1号、2016年11月。
- 4) 「孤独の諸相—佐多稲子『樹影』における被爆意識の変遷」、『原爆文学研究』第14号 2015年12月。

5) 「記憶の痛み、物語の力—井上ひさし「父と暮せば」論」、『アジア太平洋研究』第40号、2015年11月。

【単著】

『出来事の残響—原爆文学と沖縄文学』インパクト出版会、2015年7月。

【共著】

- 1) 川口 隆行編著『〈原爆〉を読む文化事典』青弓社、2017年9月。
- 2) 沖縄国際大学公開講座委員会編『沖縄国際大学公開講座 26 しまくとうばルネサンス』編集工房 東洋企画、2017年3月。
- 3) 高雄きくえ編『被爆70年ジェンダー・フォーラム in 広島「全記録」—ヒロシマという視座の可能性をひらく』ひろしま女性学研究所、2016年12月。
- 4) 日本社会文学学会編『社会文学の三〇年—バブル経済 冷戦崩壊 3・11』菁柿堂、2016年8月。

研究分野

日本近現代文学、沖縄文学

【Eメール・ホームページ等】

Eメール：y.murakami@okiu.ac.jp HP：<https://researchmap.jp/sun-drops22/>

2018年4月4日現在